

平成28年度第2次補正予算（原子力災害対策事業費補助金） の第二次交付決定について

平成29年3月10日
内閣府（原子力防災担当）

1. 本事業の趣旨

原子力緊急事態において、即時避難が困難な病院や社会福祉施設の入所者等の要配慮者及び住民等が屋内退避するための施設並びに一定期間緊急時対応を実施する原子力災害対策の拠点施設を対象とする放射線防護対策事業等を実施する。

<全体予算額：100億円>

2. 交付先及び交付決定額

原子力発電所周辺地域の要配慮者等の一時的な屋内退避場所を確保するため、社会福祉施設等の放射線防護対策を実施することとし、申請のあった8府県に対して以下のとおり第二次交付決定を行う。

<第二次交付決定額：約28億円>

（百万円）

道府県名	交付決定額	道府県名	交付決定額
青森県	708	福井県	503
茨城県	406	京都府	43
静岡県	60	島根県	690
石川県	142	佐賀県	280

※ 第一次交付決定額として、約72億円を交付決定済み（平成28年12月20日）。
（第一次と今回の第二次交付決定額とを合わせて、全体予算額100億円を交付）

〔問合せ窓口〕
内閣府政策統括官（原子力防災担当）付参事官（総括担当）付
佐藤（さとう）、赤羽（あかば）、豊川（とよかわ）
電話：03-3581-4229

平成28年度第2次補正予算 原子力災害対策事業費補助金
(第二次交付決定の自治体一覧)

1. 放射線防護対策

道府県名	施設名
茨城県	勝田病院・介護老人保健施設勝田
	さくら水戸クリニック
福井県	高浜町中央体育館
	小浜市役所

道府県名	施設名
島根県	特別養護老人ホーム あとむ苑
	東部島根医療福祉センター

2. 既存の放射線防護対策施設の機能強化 ※

道府県名	施設名
青森県	介護老人保健施設 のはなしょうぶ・東通村診療所
	特別養護老人ホーム 能舞の里
	有料老人ホーム よこはま
	介護老人保健施設 はまなす苑
	障害者支援施設 陽幸園
	障害者支援施設 しもきた療育園
	特別養護老人ホーム 貴宝園
	特別養護老人ホーム なのはな苑
	介護老人保健施設 シルバーケアセンターむつ
	特別養護老人ホーム ぼんてん荘
	特別養護老人ホーム みちのく荘
	むつ市立奥内小学校

道府県名	施設名
静岡県	御前崎市白羽公民館
石川県	特別養護老人ホーム はまなす園
	七尾市豊川公民館
京都府	障害者支援施設 みずなぎ鹿原学園
佐賀県	唐津市立馬渡小中学校
	唐津市立小川小中学校
	唐津市立加唐小中学校
	唐津市立旧神集島小学校
	唐津市立入野小学校向島分校
	唐津市立加唐小学校松島分校
	唐津市神集島公民館
	唐津市高島公民館

※ 既存の放射線防護対策施設に対して非常用発電設備(空調、照明用)等の機能強化を施すことにより、屋内退避中の居住性について向上を図るもの。

交付決定額	
放射線防護対策:6施設(小計)	16.0億円
既存の放射線防護対策施設の機能強化:24施設(小計)	12.3億円
(合計)	28.3億円

事業の背景・内容

○事業の背景と必要性

原子力発電所周辺地域の要配慮者等の一時的な屋内退避場所を確保するため、病院等の施設に放射線防護対策を行います。さらに、万一の原子力災害時における避難経路の交通阻害要因の改善を図るべく、避難経路の状況等の調査研究を行います。

○事業の内容・実施項目

I 原子力緊急事態において、即時避難が困難な病院等の要配慮者及び住民等が屋内退避するための施設等の放射線防護対策事業を支援します。あわせて、屋内退避の実施に必要な資機材の整備及び物資の備蓄を支援します。

- ① 概ね10km圏内の要配慮者等の屋内退避施設等への放射線防護対策
- ② UPZ圏内の原子力災害対策拠点病院や孤立化のおそれのある屋内退避施設の放射線防護対策
- ③ 代替オフサイトセンターへの機能強化（非常用発電設備の整備等）

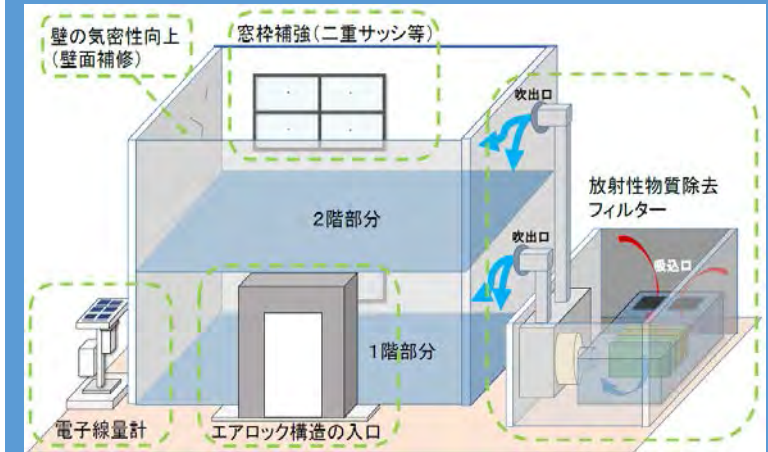
II 避難計画で位置付けられている避難経路について交通シミュレーションや避難経路の実態調査等を実施し、計画の実効性を検証するとともに、避難時の交通渋滞地点などの課題を特定し、その改善につなげるための調査研究等を実施します。

事業のスキーム



事業のイメージ

I 「放射線防護対策」のイメージ



II 「避難経路の阻害要因の調査研究」のイメージ



交通シミュレーションや避難経路の実態調査等を実施し、結果を関係する省庁や自治体に共有することで、解決策の検討につなげる。